

# アイデアを出し合って

## ～大縄跳び・リズムダンス～

1月に入ってから、体育で大縄跳びとリズムダンスに取り組んでいます。

大縄跳びでは「できるだけたくさん的人数で、できるだけたくさん跳ぶ」ということをめあてに取り組んでいます。目標の回数は色組で相談をして決めます。自分たちで決めた目標回数の達成に向け、相談することはたくさんあります。



例えば役割分担です。回す人と跳ぶ人に分かれます。回す人は縄を大きく回すため、時計の文字盤の12と6の位置を意識しながら腕を動かします。しかし、2人の息が合わないと縄がたるんでしまい、うまく回りません。

一方、中で跳ぶ人は5人～6人います。中の人が跳ぶタイミングがそろわなくても縄は回りません。並び方や並ぶ向きなども相談していました。練習をしては相談し、回す人の組み合わせや中を人の並び方を変えてはまた練習。しばらく練習をしてみて目標回数を見直すこともあります。ときには意見がぶつかり合うこともあります。でもその分、跳べたときの喜びは大きくなっているようです。

リズムダンスは「曲のリズムに合わせてオリジナルダンスを考える」ことがめあてです。

リズムに合わせて体を動かす前に、いろいろな体の動かし方について考えました。体の動く部位を考えてみると、腕、足、頭、肩、手首、足首、膝、胴体、腰、指など、たくさんあることに気付きました。動かし方を考えると、曲げる、伸ばす、回す、振る、ひねるといったキーワードが出てきました。動かす方向は上下、左右、前後、斜めなどがあり、動かす速さによって感じが変わることもわかってきました。

曲に合わせたダンスは3人～4人組で考えています。上半身だけのダンスや下半身だけのダンス、それらを組み合わせたダンスを考えていく内に、初めてする動きがどんどん生まれています。「1・2・3・4」のリズムに合わせて「16呼吸間×4回分」のダンスを完成させるために、グループで意見を出し合い、楽しく体を動かしています。



2年生も終盤です。グループでの話し合いの様子を見ると、「入学してきたあの頃から、ずいぶんと成長したなあ。」と、しみじみ感じます。